

当院における経カテーテル大動脈弁植込み術（TAVI）治療後の患者における、人工弁の種類毎の術後1年までの予後、人工弁機能の比較

1. 研究の対象

当院で2013年12月から2018年8月までに高度大動脈弁狭窄症と診断し、TAVI加療を行った患者さん

2. 研究目的・方法

大動脈弁狭窄症に対するTAVI治療で使用する人工弁は、その長期的な機能に関する日本人患者さんのデータが十分にありません。当院では、現在までに370症例を超えるTAVI治療を行っており、これまでに蓄積した情報を元に以下の内容を明らかにすることを目的として、この研究を行います。

- ① 人工弁の種類毎のTAVI直後ないし1年時点での有効弁口面積の違いの評価
- ② 人工弁の種類毎の、術前後のBNPの変化の評価
- ③ 人工弁の種類毎の、1年時点での全死亡ならびに心不全入院の有無の評価

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者基本情報（身長・体重）・CTデータ、血液検査の結果・経胸壁心臓超音波検査の結果、1年時点での全死亡率および心不全入院率、TAVIの結果・レポートを元に術中に関する情報

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 循環器内科 研究責任者 神波 裕

住所 熊本市南区近見5丁目3番1号

電話番号 096-351-8000（病院代表）

以上